

今週の

2026年6月14日



6月半ばになり、はらっぱエリアではバッタのなかまの幼虫が見られるようになりました。

① 「ハチ宿」の更新

筒状の穴に営巣するハチのなかまのために巣となるタケ筒を集めた「ハチ宿」を設置しています。そのタケ筒を6月14日の活動で入れ替



えました。古いタケ筒を開けてみると、巣材としてつめられた植物や泥、ハチのサナギの抜け殻などが確認できました。

🔍 さっそく「内見」に!!

新しいタケ筒を入れるとすぐにオオフトオビドロバチが見に来ていました。使ってくれるでしょうか。



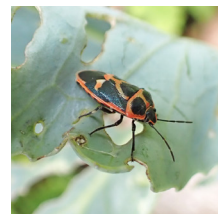
② モンシロチョウ

はらっぱエリアでは成虫が飛び、畑のキャベツには幼虫がいました。幼虫はキャベツの葉にそっくりな色です。



🔍 キャベツに集まる昆虫

カメムシのなかまのナガメもいました。その名のとおり、菜の花(アブラナ科の植物)につくカメムシで、キャベツの汁を吸います。



③ バッタのなかまの幼虫

はらっぱエリアの草むらでは、ふ化したばかりのコバネイナゴやクビキリギスが見つかりました。



🔍 触角を見てみよう

おもに昼間活動するコバネイナゴの触角は短く、夜活動するクビキリギスの触角は長いです。長い触角は暗い中でもセンサーのようにまわりのようすを探ることができます。



「いきもの広場」は、小さな生きものがくらせる環境を整えた広場です。生きものを探る楽しさや、身近な生きもののすばらしさを感じることができます。

「いきもの広場で遊ぼう」

毎月第2・4日曜日10:45～11:45

*時間外はお入りいただけません。

